



## ご挨拶

本日は“*A-Winds*69”2025年 春の演奏会にお越し下さり誠に有難うございます。

「こころ豊かな文化の香り高き町 大和郡山市」お城の麓“DMG MORI やまと郡山城ホール”で皆様方とお逢いできましたことに、団員一同心より御礼申し上げます。

四季折々に開催する、*A-Winds* の定期演奏会も69回目を数え、並びに1999年10月に発足以来、昨年創立25周年を迎えることができました。これもひとえに我々 *A-Winds* の音楽活動をこよなく愛して下さった皆様方の御指導御支援の賜物と、厚く御礼申し上げます。

本日は、音楽活動をご指導いただいている *A-Winds* のミュージック・アドバイザー潮見裕章氏を客演指揮者にお招きし、団を代表する若手2名の団員指揮者と共に指揮者によって、同じ *A-Winds* が少し異なった表情を奏でる演奏をお楽しみいただければ幸いです。

## 仲間たちと 過ごした時間は 宝物

*A-Winds*奈良アマチュアウィンドオーケストラ 団長 魚谷 昌克

\*

本日はご来場ありがとうございます。“*A-Winds*69”2025年 春の演奏会では“水”をテーマに作曲された吹奏楽オリジナル作品を集めました。

地球の表面多くを覆う“水”。その様子は宇宙からは青く輝いて見えることから、地球は別名【水の惑星】とも呼ばれます。

第1部と第2部のメインはそれぞれ、海を泳ぐ「鯨」を題材とした『メルビルの「水夫と鯨」から5つの情景より』と『鯨と海』。その他に、日本の北の海を題材にした『北海変奏曲』、作曲家のインスピレーションで描かれた『川の肖像』と『海の肖像』。そして開演前、幕間（休憩時間）のアンサンブルも“水”にまつわる楽曲を集めましたので、お楽しみいただければと思います。

最後に、本演奏会開催にあたり関係各方面よりご支援賜りました事を、演奏会実行委員を代表して心より御礼申し上げます。

“*A-Winds*69”2025年 春の演奏会 実行委員長 佐藤 司

## 募金のお礼とご報告

*A-Winds*では演奏会開催ごとに義援金を募っており、演奏会終了後に「日本赤十字社」及び「奈良県新型コロナウイルス感染症対策基金」等に全額納めております。

*A-Winds*68では34,038円を「日本赤十字社／令和6年能登半島地震災害義援金」の受付口座に納めました。

また、募金を開始した *A-Winds*38から *A-Winds*68まで、総額317,644円の募金をお預かりし、各受付口座に納めております。

募金にご協力いただいた多くの方々に、団員一同厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



## *A-Winds*奈良アマチュアウィンドオーケストラ

### Piccolo

佐藤 由加里

### Flute

佐藤 司 ㇶ(印刷)

魚谷 陽子

大塚 由起

南 結香

谷田 和奏

### Oboe

桶谷 牧子(涉外)

白井 秀

### Bassoon

桶谷 美咲

鈴木 沙織

上田 良子(プログラムノート)

### E♭ Clarinet

大谷 実

### B♭ Clarinet

竹村 明恵

吉本 樹

吉崎 淳子

中山 詩織

中山 由香

西崎 潤人

昇 若菜 ㇶ

### Alto Clarinet

大西 晴己

### Bass Clarinet

森口 悠斗

### Alto Saxophone

島田 博一

小山 飛鳥

三宅 利幸 ㇶ

### Tenor Saxophone

初岡 和樹

### Baritone Saxophone

八木 理 ㇶ

### Horn

久野 耕三

大田 雅美

坂元 葉

西島 華奈子

池本 琴音

### Trumpet

魚谷 昌克

谷田 弥生(アンサンブル)

山本 洋介

大西 伸幸

井上 寛治

乙川 佳世

谷田 雪月

### Trombone

小泉 文浩

田中 由美(ミニレター)

赤羽 孝文

寺阪 清貴(チラシ)

松本 麗

田中 智寛

### Euphonium

尾登 勇介

原田 桃花

藤山 みらい(マスコミ)

狭間 未玖乃

### Tuba

吉村 優花

堤 正治郎

松下 幸平

### Contra bass

佐藤 良一 ㇶ

田原 虹

### Percussion

谷口 麻子

木津 尚子

松本 小夜子

川人 舞

田口 幹朗

小西 恵蓮 ㇶ

### Piano

八木 真木

### Stage Manager

河村 穂香 ㇶ

### Announcer

境 貴子 ㇶ

団員合計 58名

ㇶ=エキストラ

ㇶ=休団

ㇶ=実行委員長

( )=係員

## *A-Winds* 団員募集パート

### ●募集パート

B♭ Clarinet ————— 2名

Horn ————— 2名

Tuba ————— 1名

Contra Bass ————— 1名

Percussion ————— 3名

Stage Manager ————— 1名

● *A-Winds* の活動趣旨(ウィンドアンサンブル&オリジナル重視)に賛同頂ける方

● ご自分で楽器を準備できる方 ● 全ての活動に賛同頂ける方

● 18歳以上の方 ● 詳細はお問い合わせ下さい。

問い合わせ先は<e-mail>a.winds.nara.contact@gmail.com



2025年3月9日(日) 14:00開演 (13:30開場)

DMG MORI やまと郡山城ホール 大ホール

主催 ● *A-Winds*奈良アマチュアウィンドオーケストラ

後援 ● 奈良県・大和郡山市・大和郡山市教育委員会・一般社団法人 奈良県吹奏楽連盟





## プログラム & プログラムノート

### 第1部

#### 吹奏楽のための北海変奏曲 ― 指揮：堤 正治郎

##### Variations from the Nothern Sea

○作曲：伊藤 康英／Yasuhide Ito

○出版：TRN Music Publisher

○演奏時間：約6分

1991年、海上自衛隊大湊音楽隊の委嘱により作曲されたこの作品は、タイトルには表れませんが「ソーラン節」が主題となった変奏曲です。「ソーラン節」は、かつて北海道で盛んだったニシン漁の際に唄われた「鯨場作業唄」の一節が独自に変化した民謡です。この曲は様々な作曲家の作品のモチーフとなっていますが、本作は西洋風に編曲されています。

変奏曲は主題から始まり、第一変奏、第二変奏……となることが多いですが、この作品は、冒頭から華々しい第一変奏が始まり、第二変奏、第三変奏と切れ間なく続き、第四変奏の後、最後に完全な主題が現れます。

#### メルビルの「水夫と鯨」から5つの情景より ― 指揮：潮見 裕章

##### Of Sailors and Whales, Op.78

I. イシュメル／Ishmael

II. クィークエッグ／Queequeg

III. ファーザー・マップル／Father Mapple

IV. エイハブ／Ahab

V. 白鯨／The White Whale

○作曲：ウィリアム・フランシス・マクベス／William Francis McBeth

○出版：Southern Music

○演奏時間：約17分

アメリカの作家ハーマン・メルビルは実際に捕鯨船の船員であった経験を活かして1851年に長編小説『白鯨』（Herman Melville：Moby-Dick or the Whale）を発表しました。この『白鯨』は、「モビー・ディック」と呼ばれる白いマッコウクジラを巡る船員たちの戦いの物語です。そのあらすじは、以下のとおりです。

舞台は、アメリカが捕鯨を盛んに行っていた19世紀のアメリカ。イシュメルは、鬱々とした気分を晴らすために水夫として捕鯨船に乗り込むことに決めた。捕鯨の生まれた街といわれるナンターケットから船に乗りたと思ったが、連絡船が出た後だったので、ニュー・ベッドフォードで夜を明かすことにした。

「鯨屋」という宿屋にたどり着いたイシュメルは捕鯨船「ピークオド号」の鉾手であるクィークエッグと知り合う。イシュメルとクィークエッグは宿屋のベッドに同寝することとなり、それがきっかけで仲良くなった。

ピークオド号にたどり着いたイシュメルは、船長・エイハブが鯨に片足を食いちぎられたことを聞く。それでも船に乗りたいイシュメルは食い下がり、ようやく乗船許可が下りた。イシュメルは、出航した後に甲板にエイハブの姿を見る。エイハブは威厳のある男で、鉛色の癪痕が、頭のてっぺんから足先までを貫いていた。片足は、鯨の骨でできた義足がはめられていた。

ある日の朝食の後に、エイハブは、右舷の尾びれに3つの穴の空いた白い鯨を見つけた者に、1オンス金貨を与えと言った。それこそ、「モビー・ディッ

ク」とあだ名される白いマッコウクジラのことであった。船長の復讐心は、やがて船員たちにも伝染していき、ピークオド号はモビー・ディックを探して航海に出た。

航海先でさまざまな国籍の捕鯨船に出会い、ついに日本の沖合で、エイハブはモビー・ディックを発見する。3日にわたる戦いの末、ピークオド号は転覆し、イシュメル以外の船員は死亡する。エイハブは、モビー・ディックに自分の鉾を突き刺すも、鉾の綱が首に絡まって海に落ちてしまう。イシュメルは、その2日後に他船に救出された。

マクベスはこの長編小説をモチーフにして、5つの情景を曲にしました。5つの楽章それぞれに登場人物の名前が付けられています。第3楽章は混声合唱曲となっており、その訳詞は次のとおりです。

鯨のあばらの恐怖 不気味な暗闇が弧を描いて覆いかぶさる

神の光に照らされた波のうねりは破滅へと誘う

暗黒の苦難の中で神に祈る 唱えた事さえ無い神の名を呼ぶ

祈りは聞き届けられ 鯨の恐怖から解き放たれる

私の物語は永遠に語り継がれる 快楽にも似た恐怖の時を

私は神を讃える 全知全能の神の名を……

### 第2部

#### 川の肖像 ― 指揮：小山 飛鳥

##### Rivers Portrait (Op.178)

○作曲：酒井格／Itaru Sakai

○出版：奈良県吹奏楽連盟加盟団体

○演奏時間：約9分

奈良県吹奏楽連盟60周年を記念して、酒井格氏に委嘱された作品です。40周年、50周年の時にも、酒井氏は委嘱作品を作曲しています。

委嘱時のテーマは『奈良の自然』。酒井氏によると「今までの作品は奈良盆地にある一部の場所にスポットを当てたものだったが、今回は奈良県全域に目を向けたもの」だそうです。

奈良県内を流れる4つの水系は、東部高原地帯から木津川を経て淀川に注ぐ淀川水系、大台ヶ原から県中央部を西流し和歌山を経て紀伊水道に注ぐ紀の川水系、南部山岳地帯を南流し熊野灘に注ぐ新宮川水系、大和平野から大阪湾に注ぐ大和川水系（曲中で登場する順）に分類することができ、その地域から得た印象をヒントに曲が構成されています。

曲は、さわやかな川の流れるようなスピード感あふれるメロディーで幕を開け、優雅なワルツが続き、山奥の山伏を思い起こさせるホラ貝の音も聞こえます。そして、悠久の昔から奈良県（大和国）を育み続けた壮大な川の流れを表現して曲を閉じます。

「奈良県吹奏楽連盟に係る団体の多くは、大和川水系の地域にあるけれど、奈良県全体にもぜひ関心を持ってもらいたい」という思いが込められているとのこと。

#### 海の肖像 ― 指揮：潮見 裕章

##### Sea Portrait -A Tone Painting

○作曲：ホマー・ラガッシー／Homer LaGassey

○出版：Neil A Kjos Music Co.

○演奏時間：約8分

「この“音の絵”は海の見せるあらゆる姿を捉えている。瞑想するかの如く穏

やかに静まった海、或いは猛威を振るう大嵐の海。また暴風の吹き荒れる暗い夜の海、そして昇りゆく朝陽の希望に満ちた光に包まれた海をー。」ー出版元 Kjos社HPの楽曲解説より

アメリカの作曲家ラガッシーのイメージした「海」は如何なるものだったのでしょうか。それはきっと私たち日本人の思い描く「海」とはまた全然違ったものでしょう。しかし、たとえ生まれ育った国が違い、思い描く海のイメージが違ったとしても、共通しているもの、共感できるものもたくさんあることを、この曲から感じ取ることができます。

この作品は、魅力的な2つの主要旋律と、その巧みな変容によって鮮やかなコントラストと多彩さを生み出しており、また楽曲としての構成感にも優れた往年の名曲です。

#### 交響詩「鯨と海」 ― 指揮：潮見 裕章

##### Whale and Sea Symphonic Poem

○作曲：阿部勇一／Yuichi Abe

○出版：ブレーン

○演奏時間：約12分

この作品は、グラールウインドオーケストラの委嘱により作曲されました。『鯨と海』というタイトルのとおり、母なる海とそこに暮らす地球上最大の生物「鯨」をテーマにした曲です。この地球の海には86種類もの鯨が生息しているそうです。中には長いもので2万キロメートルも回遊する鯨がいます。そんな鯨と一緒に旅をするような想像から作曲されています。冷たい北極海から始まる暖かい南の海への長い旅。そして、そこで生まれる新しい命。とてもドラマティックで情景が目に浮かぶ作品となっています。

#### 潮見 裕章 ( *A-Winds* ミュージック・アドバイザー )



##### プロフィール

1995年、大阪音楽大学を卒業。これまでにチューバを石崎一夫、武貞茂夫、西谷尚生、ロバート・トゥッチ、故トーマス・ウォルシュ、ロジャー・ボボの各氏に師事。国内外でソロリサイタルを多数開催し、アメリカ・ヨーロッパ・アジアの国際フェスティバル等にもゲストとして多数出演。今までに5枚のソロCDをリリース。大阪交響楽団チューバ奏者。大阪音楽大学、大阪芸術大学、非常勤講師。

#### “*A-Winds* 70” 2025年 夏の記念演奏会のご案内

2025年6月22日(日) 14:00開演  
DMG MORI やまと郡山城ホール 大ホール

“*A-Winds* 70” 2025年夏の記念演奏会は、70回目の開催を記念して、創団からそれぞれの時代を支え、共に音楽を奏でてきた親愛なるOB・OGメンバーとの合同演奏を行います。

25年間の *A-Winds* の歴史を映像などで振り返り、楽しい企画ステージもあります。

過去から現在、そして未来へ発展する為の架け橋になるような記念演奏会にぜひお越しください

“*A-Winds* 70” 2025年 夏の記念演奏会 実行委員長 実行委員長一同